

# 数直線の図を使って考えてみよう

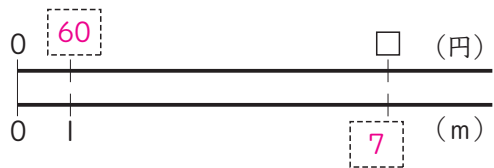
5年 組 番

めあて：数直線の図を使って□を求める式が  
どんな式になるかがわかる。

名前 \_\_\_\_\_

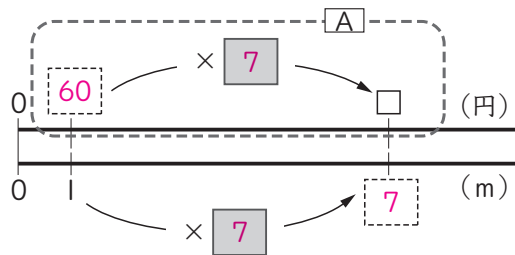
① 1 mのねだんが60円のリボンがあります。このリボンを7 m買ったときの代金を求める式は、 $60 \times 7$ になります。

① まず、長さとのねだんの関係を考えて、数直線の□にあてはまる数を書きます。



② 次に、求めるねだんは、1 mのねだんの何倍になっているかを考えて、□と■にあてはまる数を書きます。

🔍 代金は、リボンの長さに比例するから、長さが2倍、3倍、…になれば、代金も2倍、3倍、…になるね。

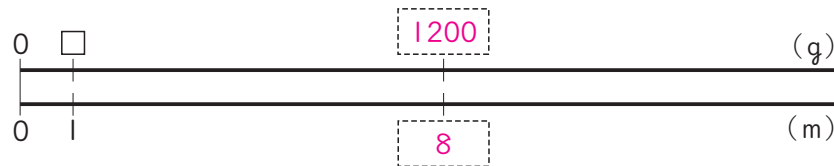


③ [A] のところを見ると、7 mのねだんを求める式が  $60 \times 7$  で正しいことがわかります。

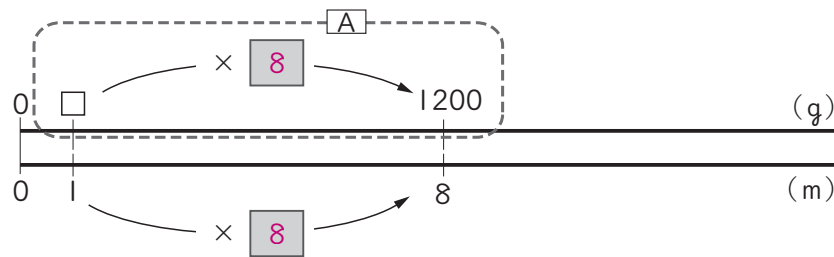
④ 7 mのねだんは、  $420$  円 です。

② 8 mの重さが1200 gのホースがあります。  
このホース1 mの重さを求める式は、 $1200 \div 8$ になります。  
この式が正しい理由を数直線を使って説明しましょう。

① まず、長さとの重さの関係を考えて、数直線の□にあてはまる数を書きます。



② 次に、求める重さ(1 mの重さ)を□gとし、8 mがもとにする長さの何倍になっているかを考えて■にあてはまる数を書きます。



③ [A] のところを見て、□と1200の関係を表す式を書くと

$\square \times 8 = 1200$  となります。

④ この式から□を求める式は  $1200 \div 8$  となります。

⑤ 1 mの重さは  $150$  g です。